



戦争法案強行採決は無効

参院6野党・会派 国対委員長申し入れ

日本共産党、民主党、生活の党、維新の党、社民党、無所属クラブの参院6野党・会派の国対委員長らは17日、会談を開き、同日の参院安保法制特別委

山崎参院議長（左奥）に申し入れる野党国対委員長17日、国会内

員会での混乱の中での戦争法案強行採決は無効だとの見解で一致し、会談直後に参院議長室を訪れて山崎正昭議長と奥石東副議長に申し入れを行いました。

正副議長への申し入れで日本共産党の井上哲士参院国対委員長らは、安保法制特での採決は理事会での合意もなく、怒号のなかで速記録も作成できなかったと指摘。どの法案、修正案、付帯決議に誰が賛成し誰が反対したのかも明らかではなく、採決自体が無効であると主張しました。

その上で、速記録や採決記録を議運委員会に精査するべきだと要求。正当な採決だと確認できないかぎり、同日中の本会議を開くべきではないと主張しました。

山崎議長は、安保法制特の鴻池祥肇委員長から「採決に瑕疵（かし）はなかった」との報告を受けていると説明しましたが、野党側はあくまでも議事録などの精査を重ねて求めました。